



すみれ通信

2020年 3月 第6号

まだまだ寒さの残る毎日ですが、少しずつ春の足音が近づいてきました。4月からスタートしたすみれ組も残すところあと1か月。4月当初から比べて、心も体もとても大きく成長した子ども達。顔つきもどことなく大人っぽくなったような気がします。

残りわずかではありますが、子ども達が進級を楽しみに毎日を過ごしていけるような保育をしていきたいと思ひます。

また、感染症対策として手洗いうがいを丁寧にしながら健康に過ごしていきたいと思ひます。



うれしいわくわく作品展♪

先日行われた作品展に向けて、毎日製作に取り組む中で想像力を発揮し、個性豊かな作品が出来ました。あらかじめ子ども達に何を作りたいかを宿題にすると、次の日には『先生！何を作るか決めたよ！！』と目をキラキラさせて報告してくれる子や『何を作ろうかなあ…。』と悩む子など様々でした。

実際に紙粘土やその他の素材を目にしに取り組み始めると、子ども達の小さな手から素敵な作品が沢山生まれました。特に紙粘土では、細かいところまでこだわる子が多く、表面のぼこぼこや輪郭、ちょっとした表情の付け方など見ていてとても面白く心が温くなるものばかりでした。

紙版画では、なかなか完成の想像が付きにくく、苦戦する子も見られていました。しかし、凸凹の画用紙や厚紙などを自分たちで切り貼りし、『ここにはこれを付けよう！！』『先生、ここはこうしたいんだあ。』と試行錯誤しながら、イメージを表現していきまひました。完成した作品を見た子ども達が目を輝かせて喜ぶ姿はとても可愛く印象的でした。これをきっかけに今後素敵な作品を沢山作ってくれることを楽しみにしています。



一年間ありがとうございました



新しいクラス、担任にドキドキしながら進級した子ども達。当初は、進級した嬉しさに張り切り、進んでお手伝いをしたり、座る姿勢も背筋がピンと伸びお兄さんお姉さんの姿が見られていました。

しかし、そんな姿にも変化が現れ、少しずつ子ども達の元気パワーが現れ、クラスには賑やかな声が充満。時には私たちに叱られることも。そんな姿を見るたびに子ども達が私たちに慣れ、心を開いてくれているのかたと嬉しくなりました。

すみれ組になり、運動会では鼓笛隊に遊戯で参加し、跳び箱や鉄棒に挑戦したりと頑張ってきました。夏には、初めての海洋センターのプールにはしゃいだり、園外保育では水族館に行ったりしました。クリスマス会では、立奏でのメロディオンに挑戦し、とても素敵な姿を見せてくれました。

この一年を通し、日々いろいろなことに挑戦してきた子ども達。達成し喜ぶ姿はもちろん、時には、うまくいかず負けそうになる姿や悔しさに涙を流す姿などが見られましたが、その一つ一つを乗り越え、一步一步大きく成長しました。

また、保護者の皆様にはご心配やご迷惑をおかけしたこともありました。が、温かく見守っていただき感謝の気持ちでいっぱいです。

今年一年、思いやりがあり、どんな時も笑顔に溢れる元気な子ども達と過ごさせていただき本当にありがとうございました。子ども達の大きな成長を傍で見て、私達自身も一緒に沢山成長させていただきまひました。

4月からはいよいよゆり組ですね。益々の子ども達の成長を楽しみにしています。

一年間本当にありがとうございました。

